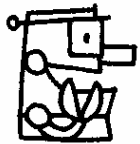


## 水にとけると酸性になる物は、何があるの



塩酸や炭酸水は気体<sup>すいようえき</sup>がとけてできた酸性の水溶液、硫酸<sup>りゅうさん</sup>は液体、クエン酸は固体<sup>こたい</sup>がとけてできた酸性水溶液さ。

### 気体が水にとけて酸になる物

水にとけて酸性になる気体で有名なものは、酸性雨の原因とされている二酸化硫黄<sup>にさんかいおう</sup>や、二酸化ちっ素<sup>いおう</sup>です。二酸化硫黄は、硫黄と酸素が結びついた有害な気体、二酸化ちっ素は、ちっ素と酸素が結びついた有害な気体で、空気中の酸素などと化学変化を起こしながら雨水にとけて、硫酸<sup>しゅうさん</sup>や硝酸という強い酸になります。これが酸性雨で、コンクリートをとকাশいたり、金属をさびさせたりします。

空気中に約0.03パーセント混じっている二酸化炭素も、水にとけやすい気体で、水にとけると弱い酸性の炭酸水になります。

塩酸も、塩化水素というつーんとしたにおいの気体が、水にとけた物です。

### 固体や液体がとけて酸になる物

粉末ジュースに入っているクエン酸は、果物<sup>くだもの</sup>に入っていてすっぱ味のもとになっている成分で、水にとかすと酸になります。同じように、固体をとかすと弱い酸になる物では、ホウ酸があります。

うすい硫酸やさく酸の水溶液は、液体の硫酸やさく酸を水にとかした水溶液です。さく酸は、すのおもな成分<sup>にゅうさんいんりょうすい</sup>です。乳酸飲料水のすっぱ味のもとになっている乳酸<sup>にゅうさん</sup>は、ふつうの気温では、ねばり気の強い、うす黄色がかった液体で、これを水にとかした物が、乳酸の水溶液です。



塩酸のつーんとしたにおいは、空気中にとび出した気体の塩化水素のにおいなんだって！